

写

写

竜議第233号
令和4年7月15日

竜王町コンパクトシティ化構想を考える会 様

竜王町議会議長 貴多 正幸



竜王町議会議長への公開質問状について (回答)

令和4年6月17日に提出されました公開質問状につきまして、別紙のとおり回答します。

まず、ご承知のとおり、地方議会の役割については、住民の代表として二元代表制（首長・議員）の一翼を担い、地方自治体の政策決定・行政執行に対して、条例や予算等を審議・決定する権限を持ち、あわせて行政への監視機能を果たすものです。

竜王町議会においても、代々このことをしっかりと踏まえ、その使命を担って参りました。

本町議会では、行政施策の執行状況や政策事項への調査確認活動を行うと共に、町執行部から提出される議会の審議に付すべき事項に対して、定例会および臨時会の本会議で慎重審議し決定いたします。また、より詳細な審議が必要な場合は、各委員会へ審議を付託し、改めて、本会議において、各委員会における審査の経過と結果の報告を受け、議案の可否を決定しています。

今後とも町民の皆様のご意思を反映させながら、魅力あふれる住みよいまちづくりに向けて町執行部と議論を重ね、町議会の役割を果たして参りますので、よろしく申し上げます。

なお、貴会にて回答を公開される際には、本通知および別紙の全文を掲載してください。

また、透明性の確保等の観点から、本町ホームページ内の竜王町議会内にて貴会からの通知および本回答を公開しますので、御了知ください。

別紙

【質問事項】

- ① 議会だよりでは「3月例会では10議員が10問の一般質問を行いました」とあります。これは議会運営委員会で「一人一質問」になったと聞いています。コンパクトシティ化構想は中長期にわたる事業です。議長の責任は、十分な質疑時間を確保することと議員の質問権を保障することです。どのようにお考えですか。

【回答】

- ① 定例会本会議の一般質問という機会は、議員にとって、町民皆様のご意見を代表して町の政策全般にわたり、執行状況や将来に対する方針などについて説明や報告を求め、疑問点をただし、意見や要望を伝える重要な権限であります。

しかしながら、コロナ禍、全国的にも新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、一般質問の時間短縮を行う等の対応がなされてきました。今回、本町においても令和4年1月から同年3月にかけて、新型コロナウイルス感染症に係る陽性者数が急増拡大の状況となり、会議時間の長時間化による感染リスクが高まる可能性を懸念し、3月定例会では一般質問数を1人1問以内と制限することを議会運営委員会において検討協議し、決定しました。

なお、竜王町コンパクトシティ化構想に関する事業については、都度、一般質問の機会だけでなく、予算決算常任委員会や各委員会の所管事務調査において、町から進捗状況等の説明を受け質疑、審議を行っています。

【質問事項】

- ② 「交流・文教ゾーン」は、令和3年3月配布のハザードマップで浸水目安が1m～3m未満(200年確率)です(2015年の水防法改正では1m～3m以上となります)。にもかかわらず、町は「1m～2mの浸水を想定し盛り土造成、河川とゾーンの間に管理用道路を造成する」と説明しています。浸水想定と対策が矛盾しています。このことについて議会としてどのように審議されましたか。

【回答】

- ② 「滋賀県地先の安全度マップ」は、1.0m～2.0m、「日野川洪水浸水想定区域図」は0.5m～3.0mでそれを重ね合わせたハザードマップでは、1.0m～3.0mの区分となり、個々の地点について、より詳細な浸水深が滋賀県より公表されており、このゾーンの詳細な浸水深が200年確率の最大浸水深とした「滋賀県地先の安全度マップ」では、1.07mか～1.86m、1000年確率を目安とした洪水想定最大規模の「日野川洪水浸水想定区域図」では0.5m～2.0mであると説明を受けました。

議員から「浸水の想定図について、浸水深が1～2mとなっているが浸水想定が適正であるか。」の質問に対し、町より「滋賀県地先の安全度マップは内水も含めて浸水想定されており、現在示されている中で最も浸水が深いものを使用している。」との回答がありました。

以下の地域活性化特別委員会の所管事務調査において造成整備等について町より説明を受け、審議しました。

〈地域活性化特別委員会〉

- 令和2年3月11日：コンパクトシティ化構想（案）の交流・文教ゾーンについて
内容：交流・文教ゾーン配置機能、浸水想定、埋蔵文化財の分布図、道路網図、上下水道・用排水路網図、交流・文教ゾーンのレイアウト案
- 令和2年9月10日：中心核整備（交流・文教ゾーン）の進捗について
内容：交流・文教ゾーンの整備に係る綾戸区民説明会の内容
- 令和2年12月15日：中心核整備（交流・文教ゾーン）の進捗について
内容：現地視察による事業説明
- 令和4年3月10日：中心核整備（交流・文教ゾーン）の進捗について
内容：敷地造成・道路・雨水排水計画の概要、令和3年度の実施状況および令和4年度の事業予定

【質問事項】

- ③ 新築移転の概算予算 55 億円の根拠となる積算見積額と、その内容について議会で十分な審議がされましたか。
建築資材及び諸物価が高騰しています。見積額の変更も必要になると思います。工事の変更に伴う増額があり町民の負担も増えます。また補助金の種類と金額について議会に報告がありましたか。

【回答】

- ③ 以下の地域活性化特別委員会の所管事務調査で新築移転の概算事業費として説明を受けています。今後の設計段階に応じて事業費が精査され、そのことも含め進捗状況等の報告がされるということです。なお、事前の調査費等の既予算については、予算決算常任委員会および本会議において慎重審議しています。

〈地域活性化特別委員会〉

- 令和3年3月11日：中心核整備（交流・文教ゾーン）の進捗について
内容：交流・文教ゾーンの概算事業費 他
- 令和3年6月15日：中心核整備、交流・文教ゾーンの進捗について
内容：交流・文教ゾーンの概算事業費 他
- 令和3年9月10日：中心核整備（交流・文教ゾーン）の進捗について
内容：「交流・文教ゾーン」整備スケジュール 他

【質問事項】

- ④ 「交流・文教ゾーン」の事業計画は具体的にどのようなになっているのか報告を受けていますか。

【回答】

- ④ 今期（第17期）竜王町議会の初定例会（令和元年第4回定例会）の地域活性化特別委員会（令和元年12月12日）に、「コンパクトシティ化構想（案）ならびにグランドデザイン構想（案）の経過と今後について」を議題として、町よりこれまでの経過の説明を受けています。

また、この中で、「交流・文教ゾーン」については、竜王小学校の老朽化に伴う「竜王町の教育施設の今後のあり方検討委員会」からの検討結果を受けて、町としては、竜王小学校の中心核（整備）への移転・建替えを含む交流・文教ゾーンの整備をリーディングプロジェクトと位置付け2025年4月の開校を目指すとし、今後の取り組みとしては、推進体制の整備、中心核課題事項への対応として国・県・地元関係者との協議と調整、小学校整備基本構想・基本計画との相互連携により中心核整備基本計画の具現化に向けて進めていくとの説明を受けました。

以後、地域活性化特別委員会の所管事務調査で事業全体の状況等の説明を受けています。

〈地域活性化特別委員会〉

- 令和2年3月11日：コンパクトシティ化構想（案）の交流・文教ゾーンについて
内容：交流・文教ゾーン配置機能、浸水想定、埋蔵文化財の分布図、道路網図、上下水道・用排水路網図、交流・文教ゾーンのレイアウト案
- 令和2年9月10日：中心核整備（交流・文教ゾーン）の進捗について
内容：交流・文教ゾーンの整備に係る綾戸区民説明会の内容
- 令和2年12月15日：中心核整備（交流・文教ゾーン）の進捗について
内容：現地視察による事業説明
- 令和3年3月11日：中心核整備（交流・文教ゾーン）の進捗について
内容：令和3年度整備スケジュール（案）について
- 令和3年6月15日：中心核整備（交流・文教ゾーン）の進捗について
内容：埋蔵文化財試掘調査、小学校建築の基本計画の策定、雨水排水計画および調整池検討業務、造成の基本設計、新設道路等の予備設計や上水道の基本設計の工程内容、実施時期について説明
- 令和3年9月10日：中心核整備（交流・文教ゾーン）の進捗について
内容：雨水排水計画、敷地造成基本設計、配水管布設基本設計等の業務着手、竜王小学校建設基本計画策定業務等の内容、埋蔵文化財試掘調査の実施についての進捗状況
- 令和3年12月14日：中心核整備（交流・文教ゾーン）の進捗について
内容：埋蔵文化財試掘調査報告、町民周知、新設道路関係協議等の説明
- 令和4年3月10日：中心核整備（交流・文教ゾーン）の進捗について
内容：敷地造成・道路・雨水排水計画の概要、令和3年度の実施状況および令和4年度の事業予定

【質問事項】

- ⑤ 新築小学校の概要について議会に報告されましたか、お答えください。

【回答】

- ⑤ 今期（第17期）竜王町議会の初定例会（令和元年第4回定例会）の教育民生常任委員会（令和元年12月11日）に、「竜王小学校整備計画の経過と今後について」を議題として、町（教育委員会）より、これまでの経過の説明を受けています。

竜王小学校は昭和46年の竣工から48年経過しており、老朽化が進行していることから、その対応については、これまでの個々の施設の整備状況等を踏まえて喫緊に方向を定める必要があります。

竜王町の教育施設の今後のあり方検討委員会からの検討結果の報告内容および町の方針および今後の進め方等について説明を受けました。

以後、地域活性化特別委員会、教育民生常任委員会の所管事務調査で竜王小学校の今後のあり方や竜王小学校建設基本計画策定の状況報告を受けています。

〈地域活性化特別委員会〉

○令和元年12月12日：コンパクトシティ化構想（案）ならびにグランドデザイン構想（案）の経過と今後について

内容：教育施設の今後のあり方検討の経緯、竜王小学校の今後のあり方について

○令和2年3月11日：コンパクトシティ化構想（案）の交流・文教ゾーンについて

内容：交流・文教ゾーン配置機能、浸水想定、埋蔵文化財の分布図、道路網図、上下水道・用排水路網図、交流・文教ゾーンのレイアウト案

〈教育民生常任委員会〉

○令和4年3月9日：竜王小学校建設基本計画策定（中間報告）について

内容：竜王小学校建設基本計画策定委員会における検討内容、検討状況について

○令和4年6月10日：竜王小学校建設基本計画について

内容：竜王小学校の整備のあり方、配置計画、竜王小学校建設基本計画策定委員会の検討経緯について

【質問事項】

- ⑥ 令和4年度予算は各課10%削減予算とのことですが、どのような理由によるのか説明がありましたか。また各課はどの予算を削減したのか説明がありましたか、知らせてください。

【回答】

- ⑥ 令和4年3月16日、予算決算常任委員会における議員からの質問に対して、町より新年度予算は前年度比10%シーリングを目標として精査しているとの回答がありました。町議会としては、町より提案された令和4年度予算に対して、予算決算常任委員会において各課の説明を受け、慎重審議しました。

以上